

道写協

北海道写真協会

事務局 札幌市中央区大通西3丁目北海道新聞社事業局内
011・210・5731(直通) 011・210・5734(FAX)
<http://www.dosyakyu.org/>

第104号

道展大賞に上田正洋氏

写真道展審査会の報告

第55回写真道展は、三月一日(土)・二日(日)の両日、北海道新聞社において行なわれました。五年に一度の記念展の年で、東京より写真家・大石芳野さんを審査委員長に招聘しての審査となりました。

応募総数は、四、六八一点で前回よりも四五七点上回り、応募者数でも二八名増となり写真道展への関心の高さが窺われます。

学生写真道展においても、応募点数六九一点(二三%増)、応募者数一八六名(一三%増)と飛躍的に伸びた前年をさらに上回る結果となったことは、今後の写真道展に展望が広がってきたといえます。

デジタル写真は、全作品の四九%に及び銀塩写真を上回る事は必至の状況となっておりです。

審査員は大石芳野審査委員長を含め総勢二六名で、内三名が欠席のため二三名(新任二名)の審査体制となりました。なお、大石審査委員長は二日目の第三次審査から選考に加わる事になっていきます。

第一日目、審査会議において審査スケジュール、確認事項、進行等の打ち合わせが行なわれた後、学生写真道展の審査が行われました。第一次審査では応募数の三分の一程度に絞られ、

引き続き、その中大崎学生道展審査委員長、常任審査員により、最高賞の北海道写真協会賞に、音更高校一年生、森 尋子さんの「フロントガラス」が選ばれました。

写真道展会友奨励賞は、出品会友五七名・一四九点の作品から会友奨励賞一点、会友準奨励賞二点が決定され、会友奨励賞に高橋和幸さん(釧路)の「まなざし」が選ばれました。

会友準奨励賞は福田光男さん(旭川)、平形秀哉さん(余市)が選ばれました。午後からは、本展の第一部・第二部・第三部の第二次審査まで行い、第一部三四五点(白黒含む)、第二部一七五点、第三部二六四点が二日目の第三次審査へ進むこととなり一日目の審査を終了いたしました。

第二日目、前日審査を通過した七八四点(応募数一六、七%)を対象に、大石芳野審査委員長が加わり入選作品の選考に入りました。審査にあたり入選枠が予め決まっていたが、審査委員長が選外としたくない作品について多少の裁量権を承認いたしました。

第三次審査に続き第四次審査を行い、第一部・一一点、第二部・四七点、第三部・七五点の合計二二三点の入選作品が決定いたしました。午後からは、大石芳野審査委員長による各部

の入賞作品の選考となり、道展審査員が見守る中慎重に進められ、会場は興奮と緊張感に漂いました。第二部、第三部では、道内固有の被写体が多いため、各審査員に状況説明を求めながら午後三時ごろ、各部大臣賞が決定し、さらにその中から第55回写真道展大賞が決定しました。全審査員が拍手を以って確認し、審査委員長の労を称えました。

審査終了後、大石審査委員長より、北海道の恵まれた自然と豊富な動植物を追い求めていることで、逆に自分たちの生活を見据えた生活感の滲み出た作品が少なかったと感想を述べられました。二日間に亘り膨大な作品を濃密なスケジュールで審査いただきました。大石芳野委員長を始め各審査員、進行委員、並びに事務局の皆様により感謝申し上げます。審査報告とさせていただきます。

実行委員長 本郷正利

大石芳野審査委員長表彰式に参加

午前中はトークショー開催

道展表彰式に、大石芳野審査委員長が、出席頂けることとなりました。入賞・入選された方々と直接顔を合わせての表彰式となります。

また午前中は、大石芳野「自作写真を語る」のトークショーを開催いたします。多くの会員皆様の参加をお待ちしています。

日時 平成二〇年五月一八日(日)

午前一〇時三〇分～一二時

会場 北海道新聞社二階・A会議室

会費 無料

定員 一五〇名(定員になり次第締め切らせていただきます。支部単位で人数、氏名をお知らせ下さい。)

申し込み先

〇四七〇二五一 小樽市新光二八三〇
本郷正利 ☎〇一三四五四六二九九



没後40年

レオナルド・フジタ展

7月12日(土)～9月4日(木)
北海道立近代美術館

休館日/月曜日(7月21日をのぞく)、7月22日(火)
開館時間/9:30～17:00(入場は16:30まで)
会期中の金曜日は夜間開館 9:30～19:30(入場は19:00まで)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目
TEL 011(644)6882/テレフォンサービス 011(612)7000

前売り券好評発売中

一般 1,000円(1,200円) / 高大生 600円(700円) / 小中生 400円(500円) 消費税込み。()内は当日料金。

【前売券販売所】北海道立近代美術館、道新プレイガイド、大丸プレイガイド(大丸藤井セントラル内)、4プラプレイガイド、北海道新聞各支社(北見、苫小牧は道新文化センター)、ローソンチケット(Lコード:13539)、セブンイレブン(商品番号:3000721)、サンクス、ファミリーマート、チケットぴあ(以上3店Pコード:688-003)、JR北海道の主な駅のみどりの窓口、ツインクルプラザ

レオナルド・フジタ展公式ホームページ <http://www.leonardofujita.jp>

北海道新聞社

藤田嗣治、幻の群像大作 日本初公開。